

◆訪問医療マッサージを考える会つくば とは？

つくば市内での在宅における訪問医療マッサージの現状を少しでも改善させ、利用者やその家族に喜ばれるよう、市内のマッサージ師（鍼灸師も含む）有志で2015年に結成しました。（2015年11月現在、マッサージ師3名、鍼灸師2名所属）

マッサージ師ってどんな仕事？

正式には「あん摩マッサージ指圧師」と言います。厚生労働省指定の学校で、解剖学・生理学・リハビリテーション学・東洋医学概論などを学び、国家試験に合格して得られる国家資格です。

現代医学の知識を用いて、筋肉や関節、神経の状態を把握したり、東洋医学の知識を用いて経穴（ツボ）や全身の状態を把握したりして、患者さん一人ひとりのお身体に適した施術（押ししたり、揉んだり、擦ったり、動かしたり）をします。

腰痛や神経痛などの運動器疾患の訴えが軽減される効果もありますし、便秘や浮腫み、疲労感なども改善させる効果があります。

また、在宅で寝たきりの方や車椅子の方、片麻痺などで歩行困難な方にみられやすい訴え（腰痛や神経痛、浮腫みや関節のこわばり、関節拘縮など）にも、マッサージをすることで、訴えを軽減させたり、機能を良くしたりします。そして何より、私たちは「手を当てる」ことで、患者さんを安心させたり、気持ちよくなってもらうこともできると思います。



マッサージでできること② ～症例を参考に～

【足の浮腫みと冷えが和らぎ、歩きやすくなります】

Uさん（82歳）男性

交通事故の後遺症で、下肢の関節拘縮と強直、血流障害等がみられ、日常生活の制限や歩行困難のみられる U さん。活動が制限され、座位でいることも多いため、浮腫と冷えが著明です。

訪問診療の主治医からマッサージ施術を勧められ、開始の運びとなりました。施術により、関節の可動域や動きの状態は現状維持ですが、下肢の冷えや浮腫は施術後から軽減し、ご本人は「マッサージを行うことにより、はばったい感覚が和らぎ、歩きやすくなる」と仰り、ご満足いただいております。

鬼怒川水害～被災地支援活動

つくば市内の避難所閉鎖後は、常総市で罹災証明書発行作業を行う市職員を対象に、マッサージ等の活動を続けております。市民の生活再建に直結する作業であるため、職員のプレッシャーは相当なものと思えます。

施術前にバイタルチェックをしておりますが、血圧が普段より高かったり、微熱が続いている職員もいます。施術によって多少は副交感神経が優位となり、リラックスした状態へ導いているかもしれませんが、連日降りかかるストレスが強いため、今後も心身のケアや体調把握の必要性を感じております。

最後までお読み頂いてありがとうございます。
当会や訪問医療マッサージについて、ご興味・ご関心をお持ち頂きましたら幸いです。

発行：訪問医療マッサージを考える会つくば

事務局：こぼり治療院（茨城県つくば市横町368-5）

029-869-9979 info@kobori-chiryoin.com